週報 WEEKLY REPORT

2020年10月21日号
2020年10月28日号 合併号
第2503回、第2504回

国際ロータリー
2020-21年度会長
ホルガー・クナーク
テーマ

ロータリーは機会の扉を開く

日本のロータリー誕生
100 周 年 :2020/10/20

Rotary
宜野湾ロータリークラブ

創立:1966年1月10日
主なテリトリー:宜野湾市、北谷町、中城村、北中城村

2020-21年度クラブ会長テーマ:ロータリーの原点に立ち返り「何を、何のために、誰にするか」

例会場: ラグナガーデンホテル TEL: 098-897-2121
例会日: 毎週水曜日 12:30～13:30
事務所: 宜野湾市大山 2-9-25-2F
TEL: 098-898-9000
FAX: 098-898-0003
E-mail: info@ginowan-rc.org

2020-21年度
会長: 岡江 保彦
幹事: 平仲 絢子
会報委員長: 茂宮 隆次

＞＞＞　四つのテスト　＜＜＜～言行はｋこれに照らしてから～

1．真実かどうか　　3．行為と友情を深めるか
2．みんなに公平か　　4．みんなのためになるかどうか

地域社会の経済発展月間/米山月間

＊＊＊　第２５０２回　（２０２０年１０月１４日）　例会報告　＊＊＊

■例会プログラム

司　　会　：吉田 明正
開 会 点 鐘　：岡江会長
ゲストビジター紹介　：仲村 真二
清　　聴　：奉仕の理想・四つのテスト
ｿﾝｸﾞﾘｰﾀﾞｰ　：なし
ｴﾆ思想推進宣言　：なし
会 長 挨 拶　：岡江 保彦
幹 事 報 告　：平仲 絢子
委 員 会 報 告　：宮城 富夫
ﾆｺﾆｺBOX　：新垣 義夫
出 席 報 告　：新垣 義夫
閉 会 点 鐘　：岡江会長

■岡江会長挨拶

今年は、日本において最初にロータリークラブが創立されてから100周年の節目を迎えました。1917年10月政府派遣財政経済委員の一員として渡米した米山梅吉（三井銀行役員）にロータリーの存在を初めて伝えたのが、既にダラスロータリークラブの会員であった福島喜三次（三井物産現法人支配人）でありました。二人は帰国後の1920年9月1日に設立準備会を設け、同年10月20日チャーターメンバー25名によって東京ロータリークラブが設立されたのであります。ところが、第二次世界大戦により一時は世界ロータリークラブを脱退しておりますが、戦後、数度にわたる世界ロータリークラブの理事会の審議を得て、1949年3月に世界ロータリークラブに復帰しております。ちなみに、日本各地に設立されているクラブは2020年7月現在、2238クラブに達しており、会員数86,089人を擁するようになりました。

ところで私事ですが、2016年3月9日に入会し、4年と6ヶ月の間、社会奉仕委員長、会場監督委員長、そうしてクラブ奉仕委員長を拝命し、曲がりなりにも与えられた役割を果たしてきました。今年度は会長という要職を担うことになり、未熟ながら、この10月で3分の1を消化することが出来ましたが、平仲幹事なくして岡江丸は大海原を航海することが出来ないことを実感しております。ご案内のとおり、平仲幹事は才色兼備と申しますか、子供の教育、家事そうして自営の事業に多忙を極めながら、クラブ幹事として適切に且つ迅速に会務を処理されていることは、会員のみならず、クラブ関係者が高く評価しているところであります。会長として、任期半ばではありますが、感謝申し上げたいと思います。

■ゲスト・ビジター紹介　仲村真二会員

☆ゲスト
・趙恩智（ジョ ウンジ）様（米山奨学生）
・髙野美月さん（青少年交換派遣予定学生）
・福山冬威様（城間幹夫会員紹介）
・クレシエメンさん（米山奨学生）

★ビジター
・上原慎次様（那覇南ＲＣ）
・田中久光様（浦添ＲＣ会長）

■ニコニコの趣旨

■いつも助けて下さる岡江会長の呼び出し(笑)でメイクアップです。宜野湾ＲＣ皆様有難うございます。（田中久光様/浦添ＲＣ）

■日本のロータリー誕生おめでとう！
エメンさん、楽しく且つ流暢な日本語の卓話ありがとう！（宮城 富夫）

■今日は多くのゲスト・ビジターの皆様お越し頂きありがとうございます。エメンさん卓話お疲れ様でした。（新垣 真由美）
（比嘉先生より）しばらくお休みしますが、元気になって必ず戻ってきます。

■クレシエメンさん卓話ありがとう。チャレンジ精神が素晴らしいですね。
Japan Rotary100周年おめでとうございます！（仲村 真二）

■クレシエメンさん卓話素晴らしい。早口の人は頭がいいですよー！（新垣 義夫）

■エメンさん卓話ありがとうございました。（仲宗根真由美、茂宮 隆次）

前 回 累 計	¥85,000	¥9,478
第2502回	¥9,000	¥0
累　　計	¥94,000	¥9,478

《10月ロータリー為替レート　＄１＝￥１０５》

■出席報告

出席報告		前回	今回
例会NO.		2501	2502
例会日		10月7日	10月14日
会員数		31	31
出席者数		24	21
出席免除者欠席数		2	2
算定用会員数		29	29
出席率		82.76%	72.41%
メークアップ	一般会員	0	0
	免除会員	0	0
訂正出席者数		24	21
訂正算定分母		29	29
訂正出席率		82.76%	72.41%

■幹事報告　　平仲幹事

【幹事報告】

①10/21移動例会のご案内

【回　覧】

①米山奨学会2019年度決算報告のご案内

■日本のロータリー100周年を祝して乾杯の音頭

宮城富夫クラブ管理運営委員長

皆さんこんにちは。クラブ管理運営委員長の宮城です。会場の後方に「日本のロータリー100周年」の横断幕が掲げられております。2020年10月20日来週の火曜日が記念日となりますが、例会の都合上、本日前祝を行いたいと思います。ロータリーの誕生はシカゴで115年。日本では東京ＲＣがチャーターメンバー25名で結成されております。先月、日本のロータリー100周年記念切手が発行されておりますので皆さんチェックして下さい。
日本のロータリー100周年を記念して、本日はささやかながら、ノンアルコールで乾杯を捧げたいと思います。

「日本のロータリー100周年
おめでとうございます！*乾杯*

■例会予定

〈本日〉

◆第２５０４回１０月２８日（水）
當間正広氏（介護旅行うるま　代表社員）
演題：快適で安全な沖縄本島観光を
　　楽しんでみませんか？

◆第２５０５回１１月４日（水）　理事会
会員卓話：新垣義夫会員
演題：「コロナ クルナ エトセトラ」

◆第２５０６回１１月１１日（水）
安里政晃氏（地区ロータリー財団委員）
演題：ロータリー財団月間に因んで

◆第２５０７回１１月１８日（水）
玉栄章宏氏（㈲きらら総合企画 取締役社長）
演題：「電力の自由化について」

◆第２５０８回１１月２５日（水）
ユンタク会

■地区・他クラブよりお知らせ

例会休会のお知らせ

・宮古島ロータリークラブ
日時：10月27日（火）　臨時休会
　定款第7条1節ｄ項（3）による

・石垣ロータリークラブ
日時：10月28日（水）　臨時休会
日時：11月4日（水）ガバナー公式訪問延期
　定款第7条1節ｄ項（3）による

例会変更のお知らせ

・那覇北ロータリークラブ
日時：10月29日（木）　19：00
場所：まりんぽっくす（新垣徹会員飲食店）
ビジター費：¥4,000（夜間例会へ変更）

日本のロータリー100周年を記念して(^^♪

米山奨学生　クレシエメンさん卓話
「私について」

クレシエメンさん卓話の様子

皆さんこんにちは。米山奨学生のクレシエメンです。
私が今日お話しすることは、

1．私の母国について
2．私はどんな人
3．小さい時の将来の夢
4．日本に来て驚いたこと
5．日本の食事
6．日本に来てからの将来の夢
7．これからの私の目標について

私はパキスタン出身です。パキスタンは日本と同じアジアでインドの隣りにあります。日本から飛行機で15時間かかります。面積は約79.6平方キロメートルで日本の約2倍の国土です。日本は沢山の県がありますが、パキスタンは4つしか県はありません。私はパキスタンで最も人口の多いカラチで生まれ育ちました。そのカラチから日本に来ました。

2．私ってどんな人
人は誰しも完ぺきではありません。誰でも長所と短所があると思います。私の長所は人見知りしない、話しやすいことです。実は、パキスタンにいる時はとても人見知りしていました。人前で発表することが苦手で、自分を出すのがとても恥ずかしかったです。しかし、日本に来て自分が変わりました。日本の文化を観て、自分の国と全く違うことが多くあり、ここで勉強したい、ここの学校に通いたいと思い色々な手続きを経て日本の中学校へ通う事が出来ました。当時の私の日本語は自己紹介しか出来ず、クラスの人と当然コミュニケーションが取れず、より一層人見知りをし授業でも何も解らず手を上げることなく引っ込んでいました。しかし、ここで手を上げずにいたら日本語が話せなくなる、恥ずかしくてもいいから、とにかく手を上げる事が大事という気持ち、意識を持って積極的に発言して行ったら人見知りがなくなり高校生にもなると、そこまで仲良くしてない人から相談を持ち掛けられたりして、不思議に思い聞いてみると、相談しやすい、話しやすいと言われたので、これは私の長所だと思います。短所は”早口”だと思います。私は喋りだすと無意識に口が止まらない位になってしまいます。そして心配性です。今日の発表でも緊張して「出来るかな～」「大丈夫かなぁ」という風に直ぐに心配してしまいます。この心配性は直していきたいと思います。

3．小さい時の将来の夢
皆さんも小さい時の夢って持っていたと思いますが、私はキャビンアテンダントになりたかったです。

4．日本に来て驚いたこと
それはほとんどの人がマスクをしていることです。今はコロナの関係で当たり前となっていますが、その当時はもしかして悪い病気でも流行っていて、自分はマスクをしていないので移ってしまうのかもと思いとてもびっくりしました。そして、どこに行っても自販機が沢山ある事です。私の国には自販機はありません。次に、パキスタンはイスラム教なので、お祈りしたり、行事に参加したりしますが、日本は友達同士でクリスマスパーティーをします。その際友達に招待されたので「あっクリスチャンなんだ」と思っていたら、お正月になると神社にお参りに行くと聞いて少し驚きました。

5．日本の食事
私はイスラム教なので豚肉、お酒を一切口にしてはいけません。沖縄料理は豚肉が多いです。沖縄そば、ゴーヤーチャンプルーとかチンスコーはお菓子ですがラードを使っているので口にすることはできません。エキスでもダメなので、レストランに行ってもアレルギー表でチェックしてから料理を頼みます。私の好きな食べ物は抹茶です。抹茶ラテ、抹茶クッキーなどはとても美味しいです。

6．日本に来てからの将来の夢
パキスタンの女性進出社会を伸ばしたい。日本は女児が学校に通って勉強している。パキスタンでは女児が無理矢理結婚をさせられる。56%の女性たちが学校に行きたくても行けない。小さい時に結婚させられるので、子供時代の楽しみもない。女性は学校に行くより家庭のことをやり子供を産むことが大切であり学校なんて要らないという考え方をもっている人が地方にはまだまだあります。パキスタンに帰ったらそんな考え方を変えていきたいと思います。全部は変えられないとは思いますが、自分で努力して学んだことを少しでもいいから自分の周りから直していきたいと思います。

7．これからの私の目標について
日本語をもっと沢山勉強すること。日本の歴史、沖縄の歴史を更に勉強すること。将来の夢を叶う為に今から行動すること。どんな大変な時でも諦めないこと。人との出会いを大切にすること。失敗しても落ち込まないこと。それではご視聴ありがとうございました。

職業宣言　１２．”四つのテスト”それは、職業奉仕そのものと言える。

超我の奉仕
私たちは"出会いを大切に"
しています
あなたも職業人リーダーの
ネットワークに参加しませんか
詳しくは当ロータリークラブへ
ご連絡下さい
Rotary
宜野湾ロータリークラブ
TEL 098-898-9000

＊＊＊　第２５０２回　（２０２０年１０月１４日）　例会報告　続編　＊＊＊

皆様こんにちは。
私は第56期青少年交換派遣学生の
高野美月です。(ドイツ派遣の予定です。)

今日は皆様に詩を紹介いたします。

オーストリアの詩人，リルケの「秋」という作品です。ドイツ語で秋はHerbstです。

Herbst　Rainer Maria Rilke

1875～1926
ライナー・マリア・リルケ

Die Blätter fallen, fallen wie von weit,
木の葉が散る，遠くからのように散り落ちる

Als welkten in den Himmeln ferne Gärten;
大空の遠い園生(そのふ)が枯れたように

Sie fallen mit verneinender Gebärde.
木の葉は否定の身ぶりで落ちる

Und in den Nächten fällt die schwere Erde
そして夜々には重たい地球が

Aus allen Sternen in die Einsamkeit.
あらゆる星の群から寂寥(せきりょう)のなかへ落ちる

Wir alle fallen. Diese Hand da fällt.
われわれはみんな落ちる．この手も落ちる．

Und sieh dir andre an: es ist in allen.
ほかをごらん．落下はすべてにあるのだ．

Und doch ist Einer, welcher dieses Fallen
けれども　ただひとり　この落下を

Unendlich sanft in seinen Händen hält.
限りなくやさしく　その両手に支えている者がある．

＞＞＞　四つのテスト　＜＜＜～言行はｋこれに照らしてから～

1．真実かどうか　　3．行為と友情を深めるか
2．みんなに公平か　　4．みんなのためになるかどうか

地域社会の経済発展月間/米山月間

＊＊＊　第２５０３回　（２０２０年１０月２１日）　移動例会報告　＊＊＊

■例会の様子

司会・幹事報告　平仲幹事　　岡江会長挨拶

仲宗根社会奉仕委員長挨拶　　池田彩織会員

■出席報告

出席報告		前回	今回
例会NO.		2502	2503
例会日		10月14日	10月21日
会員数		31	31
出席者数		21	13
出席免除者欠席数		2	3
算定用会員数		29	28
出席率		72.41%	46.43%
メークアップ	一般会員	0	1
	免除会員	0	0
訂正出席者数		21	14
訂正算定分母		29	28
訂正出席率		72.41%	50.00%

先発隊で頑張って頂きました。ありがとうございます。

作業を終えて(^^♪　お疲れ様でした。

河村哲の半生と反省

2020 年 10 月 7 日　宜野湾ＲＣ卓話

「河村哲の半生と反省」

私は東京に生まれ、大学で化学を学び、住友ベークライトというプラスチックメーカーに勤め、結婚もし、家も買い、子供も生まれて、ある意味順風満帆なサラリーマン生活を８年間やってきました。が、このあまりにも快適な毎日生活を繰り返すうち、このままあっという間に定年を迎え、「オレの人生って。。。」と考え込んでしまう自分の姿が夢に浮かぶようになり、立ち寄った本屋の啓発本コーナーで見つけた堀紘一氏の「リーダーシップの本質」という本がきっかけで、彼が当時「ホンダやソニーを１００社作ろうと」始めたドリームインキュベータ（DI）というコンサル会社に転職することとなります。私には２０％程度しか理解できない言葉で話す同僚/先輩達の中、最初の４年間は毎日２時間の睡眠で食らいついているうち、サラリーマン生活では得ることのできなかった経営や金融等の世間の仕組みの知識と実践力、また多くの技術系企業の経営者との面談の機会を得て、国内の様々な技術がどこにあり誰と話をすればよいかといったことを体で学ぶことができたことは今も私の糧となっています。

ちょうどその頃、リーマンショックが起き DI が飯の種にしていた技術系中小/ベンチャー企業がバタバタと倒産の危機に瀕してゆくのを目の当たりにして、これらの技術をなんとか救いたいとの想いから DI に勤めながら人生初の起業をして、DI の経営会議を通らなかった少額（といっても２億円程度）の資金調達を実行しては千~数百万円のフィーをもらい、それをさらに困っている企業に貸したり出資したり、そのお金で麹町に居酒屋を出したりと、好き勝手なことをやっていました。

DI には通算６年お世話になりましたが、当時私の上司として入社してきた方に、「技術系ベンチャーじゃなくて、儲かる事業承継のアドバイザリーをやってよ、君だってポルシェやフェラーリに乗りたいだろ」と言われた言葉に価値観の違いを感じ、奇しくも東日本大震災の翌日に退職し、プチ避難と息抜きで訪れた沖縄にそのまま家族で移住することとなります。

当時全く貯金のなかった私は、原発事故後の日本で求められていた安価で正確な放射線測定器の製造販売を１日０．５％の高利貸しから１５００万円を借りて開始したところ、７月だけで１億円売れ、８月には各自治体から５億円の内定をもらい、事業は大成功かと思いきや ９ 月に５億円全ての内定のキャンセルを喰らい、さらに当時少しのお金をもっていた私に群がってきた複数の詐欺師に４０００万円以上を持っていかれ、ふと気づけばキャッシュは全くなくなり５０００万円の借金と作りかけの在庫の山に囲まれて10月を迎えていました。顧問弁護士からは原子力行政に関わって変死した人が大勢いる話を聞き、無邪気に来てはいけないところに来てしまっていたことに気付きましたが後のまつり。当時日本中にいた私が作った放射線測定器のユーザーは毎日のように各地の線量を測ってネットにアプしていましたが、時々とんでもない量の放射線が観測されることがあり、そんな時は決まって彼らの書き込みは何者かによって削除されました。また、政治家を使い上記５億円を横取りしたメーカーはその後放射線量を半分に改竄していたことが複数の新聞雑誌で報じられましたが、今は検索してもその記事は出てきません。世の中とはそんなものだということに

愕然としたのを覚えています。本当に危ないところにいたものだと今になっても思います。
そんなボロボロの状況のなか、起死回生を図ろうと作った会社がレキオ・パワー・テクノロジーです。とにかく生きるために、たくさんの補助金の申請書を自社の分だけでなく、他社の分も請け負って書きました。その中にアフリカスーダンでの外務省の事業があり、そこからほぼ6年間どっぷりスーダンの医療プロジェクトに関わることとなります。そのプロジェクトの中でアフリカの抱える課題を目の当たりにしたことから「世界の医療空白地をなくす」ことを目的とした、一般人向けのエコーの普及を現在の生業とするに至りました。
そうしてなんとか生活も立て直してきたところに、コロナがやってきました。国内外のエコーの売上は今年3月以降ゼロ、またしても危機です。が、ふと周りを見渡すとPCR検査のキャパが沖縄では圧倒的に不足していることに気が付き、第一波で誰も走っていない道路を飛ばして、毎日病院からコロナ検体をかき集めて検査所に持ってゆくところから始め、この年末には誰もが安価で気軽にPCR検査を受けることができる体制を構築できる目処が立ち、これにより会社の危機もひと段落つきそうという今日この頃です。
沖縄に移住してからのジェットコースターのような毎日を経験することができたことにとても感謝をしており、そこから得た人生観でこれからも生きてゆくつもりです。
「全ての人に平等に与えられている時間を、どう使うか、何に使うかが人生。どうせ一度の人生なら、自分の人生は自分で作って、やりきって死ねたら最高！」